

文京シビックセンター改修基本計画に基づく平成 30 年度実施予定について

平成 29 年 3 月に策定した文京シビックセンター改修基本計画（計画期間 平成 30 年度～39 年度）に基づき、平成 30 年度においては以下に示す非常用発電設備増設、その他の改修工事等を実施する。

1 非常用発電設備増設

現状

地下 4 階に既存発電機 1000kVA × 2 台が設置されており、3 日分の備蓄燃料により、非常用エレベーターや防災設備等に必要な電力供給を行うことが出来る。

新たな非常用発電設備の設置

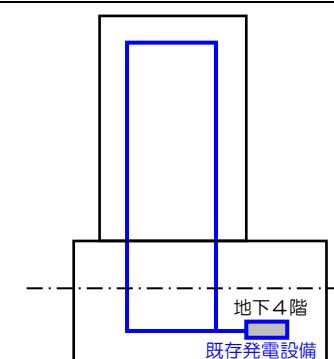
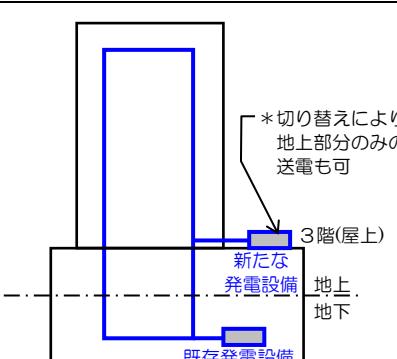
新たに非常用発電機 2000 kVA × 1 台を 3 階に設置する。併せて、新たに専用の燃料タンクを設置し 3 日分の燃料を備蓄すると共に、燃料事業者との協定により燃料を確保し、連続稼動期間を 7 日間とする。（予定期工期 平成 30 年度～32 年度）

併せて、現状のほか帰宅困難者受け入れスペース、災害対策本部機能補完室等にも電力供給範囲を拡充する。

地下 4 階既存発電機の活用

新たな発電機が使用出来なくなった場合（連続稼働 7 日経過・燃料切れ等）のバックアップ電源として使用（3 日間稼働）する。

○非常用発電設備機能強化イメージ図

現状の非常用発電設備	新たな非常用発電設備
 <p>既存発電設備</p> <p>地下 4 階</p> <p>地上 地下</p>	 <p>*切り替えにより 地上部分のみの 送電も可</p> <p>3階(屋上)</p> <p>新たな 発電設備</p> <p>既存 発電設備</p> <p>地上 地下</p>
<ul style="list-style-type: none">備蓄燃料による 3 日間の連続稼動非常用エレベーターや防災設備等に必要な電力供給一般事務室等には通常の 1/3 程度の電力供給	<p>(新たな発電設備)</p> <ul style="list-style-type: none">備蓄燃料 3 日分 + 燃料事業者との協定により 7 日間連続稼動帰宅困難者受け入れスペース、災害対策本部機能補完室等、電力供給範囲拡充<p>(既存発電設備)</p><ul style="list-style-type: none">バックアップ電源として使用（3 日間稼働）

2 その他の改修工事等

中央監視システム更新工事

空調設備等の自動制御を行なうシステムの更新工事。平成28年度より4年計画で実施中。

通年稼動空調機器更新工事

機械室等の通年終日運転している空調用冷房専用機の更新工事。平成28年度より4年計画で実施中。

今後予定している改修の調査設計等

設備機器等耐震化、エレベーター長周期地震動対応、災害対策本部機能強化、特定天井改修、防水板設置、防火設備改修、サイン多言語化、ゴンドラ更新等

3 今後のスケジュール

平成30年1月25日 1月議会総務区民委員会報告

4月～ 各工事及び設計等について順次着手